



モンテディオ山形

ホームゲーム全試合SDGsコーナーの設置 1/2

年間21試合、全てのホームゲームで、SDGsを行う企業や自治体・その他NPOなどの団体の活動をパンフレットや商品ベースで紹介してきました。シーズン後半には企業とタイアップしてワークショップを開催し、サポーターがSDGsを主体的に楽しく体験できる場をつくりました。



活動場所 NDソフトスタジアム山形



協働者

企業、NPO、住民、学校、行政

協働者名

株式会社エコスタイル、株式会社Kanatta、株式会社チェンジ・ザ・ワールド、豊島株式会社、株式会社ポチくる、株式会社笑子、イーレックス株式会社、株式会社ミズサワセミコンダクタ、山形朝日株式会社、株式会社京都スパーサー、株式会社カオナビ、株式会社ソフィア、株式会社庄内クリエイト工業、株式会社QDレーザ、株式会社ライフエッグ、株式会社イノベーションIFAコンサルティング、株式会社食のカコーポレーション、株式会社山一ハガネ、株式会社スマートチェックアウト、その他40団体



協働者の声

SDGsコーナー協賛社/皆様からの声

モンテディオ山形が、サッカーだけではなく、県内はもちろん県外企業にも共創の場を提供していき、県内を盛り上げていくという姿勢に感銘を受けました。ワークショップの開催を通して、全く違う業界と繋がることで、次のアイデアのヒントになるのではないかと思います。



活動詳細情報

1

[公式note](#)

カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





モンテディオ山形

ホームゲーム全試合SDGsコーナーの設置 2/2

Story

2021年ホームゲーム全21試合で、SDGsコーナーを設置しました。モンテディオ山形がSDGsの活動を始めた理由は、よりよい社会をつくることスポーツクラブの使命だと考えているからです。スポーツクラブには「求心力」と「情報発信力」があります。これらを使って、SDGsや社会活動をされている企業・行政・NPOの団体の活動を紹介し、一緒に取組みを行い、応援することで、よりよい社会づくりに寄与できると考えています。

具体的な内容としては、企業・自治体・その他NPOのSDGsの活動をパンフレットや商品ベースでの紹介、時にはワークショップなどを開催し、サポーター

がSDGsのイベントを体験する機会を作りました。この1年間で59団体と協業し、サポーターの皆様がSDGsを主体的に考えるきっかけをつくりたいと思い企画してきました。

また、SDGsコーナーではダイバーシティや障がい者理解をテーマとしたユニバーサルスポーツ体験も実施しています。クラブから障がい者スポーツ団体に声をかけて、時には普段から車いすをのっている障がい者の人にスタジアムに来ていただき、パラリンピック競技などユニバーサルスポーツを健常者の方々と一緒に体験していただきました。障がいのある方と健常者の交流する場面をつくることで、相互理解が深まるきっかけになればと思っています。

2022年シーズンのモンテディオ山形は、更に多くの社会活動やSDGsに触れる機会を皆様につくるのが重要だと考えています。まだ「SDGs」というワードは堅苦しく近寄りづらいイメージがあると思います。多くの方がSDGsを自分ごととして捉えるためにも、スポーツクラブが持つ「求心力」と「情報発信力」をSDGsに取り組む団体にご利用して



いただきながら、一緒にSDGsの活動を行い、モンテディオ山形がSDGsに取り組む団体にとってプラットフォームとして存在できればと考えています。

